

第36回 今野賞 (令和8年度)

募 集 要 項

公 益 信 託

今野芳雄記念宮城県心身障害児教育振興基金

1 今野賞の目的

当基金は宮城県の特別支援教育の充実と振興を願う故今野芳雄氏によって、平成3年8月に特別支援教育に関する教育研究の助成と援助を目的として設立されました。

障害のある子供たちの教育は、一人一人に応じた支援が必要とされており、特別支援学校や、小・中学校などの特別支援学級や通常の学級、通級による指導（高等学校を含む）などで、現在障害のある子どもたちの指導の充実を図ることが求められています。

「今野賞」は特別支援教育現場で、意欲的に研究に励み、創意あふれる指導を行い、優れた業績をあげている教育者を広く県内から選び、その功績の顕彰及び研究を助成することにより、現場で指導にあたる人々の励みとし、創造性豊かな教育環境が一層進むことを目的としています。

故今野芳雄様の基金設立時の趣意書を添えますので、ご覧いただき、ご応募いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

趣 意 書

私は今年80歳の傘寿を迎えました。現在妻と共に健康に恵まれ、安定した生活を、日当たりの良い新築の家で楽しく過ごしています。

これも昭和4年宮城師範学校を卒業後、教職や印刷業を通して級友や教職員関係者の永年のご支援の賜物と厚く感謝しています。

しかし、子宝に恵まれず、私の志を継ぐ後継者を得ることができないのが心残りの一つです。そこで、永年お世話になった宮城県教育界のために私の財産の一部をお役に立たせていただきたいと思い立ちました。

教育界で心身に障害のある子の親の悩みや苦しみを思うと私の心は痛みます。この子らの幸せのために日夜指導にあたる教師の一層のご研鑽を期待し、「研究助成と援助」のために財産の提供を決意いたしました次第です。

私の微意をおくみとりの上、よろしくご活用くださいますようお願いいたします。

平成3年8月20日

公益信託今野芳雄記念宮城県心身障害児教育振興基金委託者

今野 芳雄



2 募集部門・募集対象

募集部門	募集対象
A 功績者顕彰 特別支援教育に意欲的に取り組み、優れた学校経営ならびに学級経営、学習指導、研究を行うなど、その振興に顕著な貢献をされた方、又は、団体及び研究会を顕彰します。	○県内の 小・中学校 特別支援学級担任 養護教諭、栄養教諭 通級による指導の担当者(高等学校を含む) 特別支援学校の教員 特別支援教育の指導的立場にある者 ○団体及び研究会
B 若手指導者育成 特別支援教育では、障害のある子供たちの社会参加と社会自立を図るため、障害の状態等に応じて教育内容や方法を工夫していくことが求められています。 こうした課題解決に、熱意をもって努力してきた40歳未満の方の具体的な実践例を期待します。	○40歳(令和9年3月31日現在)未満の方で、県内の 小・中学校の特別支援学級担任 養護教諭、栄養教諭 通級による指導の担当者(高等学校を含む) 特別支援学校の教員 その他の特別支援教育の担当者
C 課題研究助成 特別支援教育が抱えている緊急で、今日的課題を解決するための専門性の高い研究を計画・実践してきた40歳以上の方、又は、団体及び研究会に対し助成します。特に、創意と工夫にあふれ、この教育の発展に役立つ実践例を期待します。	○40歳(令和9年3月31日現在)以上の方で、県内の 小・中学校特別支援学級担任 養護教諭、栄養教諭 通級による指導の担当者(高等学校を含む) 特別支援学校の教員 その他の特別支援教育の担当者 ○団体及び研究会
D 通常の学級における実践研究助成 通常の学級において、学びにくさや不適応状態を示す子供たちの存在がクローズアップされています。 このような子供たちを含めた通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子供たちに対する指導等に関しての実践研究をしている方、又は団体及び研究会に助成します。通常の学級担任の方やそれを支援している特別支援学級担任等の具体的な実践例を期待します。	○県内の 小・中・高等学校の通常の学級担任 養護教諭、栄養教諭 通常の学級を支援する特別支援学級担任 通級による指導の担当者(高等学校を含む) その他の特別支援教育の担当者 ○団体及び研究会

- ・ 今野賞の目的に鑑み、上記B部門、C部門、D部門は重複して応募できません。
- ・ 昨年度受賞（入賞を除く）された方は、本年度応募できません。
- ・ 昨年度入賞された方については、入賞論文を再構成して応募すること、又は別の論文を応募することができます。

3 応募方法

(1) 推薦の方法

- ・所属長又は関係機関が推薦者となります。
- ・様式1（推薦票）に必要事項を記入してください。

(2) 提出書類 及び 留意点

＜各部門共通の留意点＞

- ・生成A I等を使用しての論文作成は認めません。
- ・応募された論文・資料は返却いたしません。

＜様式3－1、3－2「反社会的勢力でないことの表明・確約書」について＞

- ・教員等の個人からの応募、各種教育研究会が団体で応募する場合は3－1が必要です。
- ・私立学校が団体で応募する場合は3－2の提出が必要です。
- ・次の①②に該当し、団体として応募する場合は提出不要です。

① 国または地方公共団体および100%出資会社、外国政府、外国の地方公共団体、駐日外国公館

② 公証人、特殊法人、認可法人、独立行政法人、国公立大学法人、公益財団法人、
公益社団法人、社会福祉法人、特別民間法人

募集部門	提出書類	留意点
A 功績者顕彰	・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・様式3－1または3－2 （反社会的勢力でないことの表明・確約書） ・功績を証明する資料 A4版で形式自由、50ページ以内。	・団体及び研究会の場合は代表者名をもって記入してください。

B 若手指導者育成	・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・様式3-1または3-2 (反社会的勢力でないことの表明・確約書) ・応募者自身による実践論文 A4判で形式自由。ただし、資料を含め10ページ以内。	・実践論文は、過去3年以内にまとめたもので、発表・未発表は問いません。ただし、大学や県総合教育センター等の研修に伴うものは除きます。 ・実践論文は、発表に関して本人もしくは保護者の同意を得ていることが必要です。<u>承諾を得た旨を本文中に記載</u>してください。 ・論文作成に生成AIを使用していない旨も本文中に記載してください。 ・受賞（入賞を除く）された論文は今野賞のホームページに掲載します。本人のプライバシーに配慮した論文作成をお願いします。
C 課題研究助成	・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・様式3-1または3-2 (反社会的勢力でないことの表明・確約書) ・応募者自身による研究計画・実践論文 A4判で形式自由。ただし、資料を含め10ページ以内。	・実践論文は未発表のもので、応募時に他の団体の懸賞論文等に多重応募していないものとします。 ・実践論文は、発表に関して本人もしくは保護者の同意を得ていることが必要です。<u>承諾を得た旨を本文中に記載</u>してください。 ・論文作成に生成AIを使用していない旨も本文中に記載してください。 ・受賞（入賞を除く）された論文は今野賞のホームページに掲載します。本人のプライバシーに配慮した論文作成をお願いします。 ・団体及び研究会の場合は代表者名をもって記入してください。

D 通常の学級における実践研究助成	・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・様式3-1または3-2（反社会的勢力でないことの表明・確約書） ・応募者自身による実践論文 A4判で形式自由。ただし、資料を含め10ページ以内。	・実践論文は、過去3年以内にまとめたもので、発表・未発表は問いません。ただし、大学や県総合教育センター等の研修に伴うものは除きます。 ・実践論文は、発表に関して本人もしくは保護者の同意を得ていることが必要です。<u>承諾を得た旨を本文中に記載</u>してください。 ・論文作成に生成AIを使用していない旨も本文中に記載してください。 ・受賞（入賞を除く）された論文は今野賞のホームページに掲載します。本人のプライバシーに配慮した論文作成をお願いします。 ・団体及び研究会の場合は代表者名をもって記入してください。
--------------------------	--	--

(3) 送付先

- ・提出書類一式を下記の送付先へ郵送願います。
- ・論文は、その電子データ（ワード、一太郎）もメールに添付して提出願います。

送付先：宮城教育大学附属特別支援学校 「今野賞」事務局 宛

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉395-2

TEL 022-214-3353

データ送付先：E-mail tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp

(4) 応募締切 令和8年10月23日（金）必着

4 審査

- (1) 応募方法に沿って提出されたものの中から、下記のとおり受賞者を選びます。

A 功績者顕彰	・ 若干数
B 若手指導者育成	・ 最優秀賞 1 件 ・ 優秀賞 2 件以内
C 課題研究助成	・ 最優秀賞 1 件 ・ 優秀賞 1 件
D 通常の学級における実践研究助成	・ 最優秀賞 1 件 または 優秀賞 2 件

※ 上記のほか、全応募の中から入賞 10 件程度を選びます。

- (2) 審査の観点

A 功績者顕彰	① 取組が地域等の特別支援教育の充実と振興に著しい貢献をしたか ② 優れた学校経営ならびに学級経営、学習指導、研究を行ってきたか ③ 長年にわたり特別支援教育の振興・実践に努め、意欲的に取り組んできたか <u>団体及び研究会</u>：30 年以上の教育実践と県全体の特別支援教育振興への貢献（自主公開研究会等による研究実践の積み重ね、研修会等の継続的な実施による地域への貢献） <u>個人</u>：10 年以上にわたる意欲的な教育実践と優れた学校経営ならびに学級経営、学習指導、研究の積み重ね
B 若手指導者育成 C 課題研究助成 D 通常の学級における実践研究助成	① 目標・内容・方法が的確にとらえられているか ② 研究・実践に実証性・独創性があるか ③ 研究・実践の成果や課題が明確になっているか ④ 論文の構成及び叙述が適切か

5 助成金の金額

A 功績者顕彰

5万円程度

B 若手指導者育成

最優秀賞 10万円

優秀賞 5万円

C 課題研究助成

最優秀賞 10万円

優秀賞 5万円

D 通常の学級における実践研究助成

最優秀賞 10万円

最優秀賞選出なしの場合 優秀賞 5万円以内

部門共通 入賞 2万円

6 発表と表彰

- ・受賞者は、令和9年1月15日までに 本人又は代表者に通知します。
- ・表彰式は、令和9年2月上旬に行う予定です。その席上で賞状と目録をお贈りします。
表彰式の日程や場所等については、受賞の通知書に記載します。

7 選考委員

澁谷 榮 昭	委員長
	元 宮城県教育庁特別支援教育室長
	元 宮城県立光明支援学校長
赤間 宏	元 宮城県特別支援教育研究会言語障害・発達障害教育専門部長
	元 仙台市教育局学校教育部特別支援教育課長
栗林 正 見	元 宮城県特別支援教育研究会肢体不自由病弱教育専門部長
野崎 義 和	宮城教育大学 准教授
杉浦 誠一郎	宮城県特別支援学校長会 今野賞担当
	宮城教育大学附属特別支援学校長
杉浦 徹	東北福祉大学 准教授
今野 美 樹	仙台市小学校教育研究会特別支援教育部会長
	仙台市立八乙女小学校長
只野 悟	宮城県特別支援教育研究会会長
	宮城県立小松島支援学校長
西村 茂 貴	宮城県特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会副会長
	仙台市立長命ヶ丘小学校長
渡部 智 之	仙台市中学校教育研究会特別支援教育研究会会長
	仙台市立西多賀中学校長
江寄 博 子	宮城県教育庁特別支援教育課副参事（班長）
遊佐 亮	仙台市教育委員会特別支援教育課主幹

8 今野賞のホームページ

<https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp>

今野賞

募集要項、受賞者一覧（最優秀賞並びに優秀賞論文を含む）
を掲載しています。

クリックしてください。

9 お問い合わせ

〒980-0811

仙台市青葉区一番町3-1-1 仙台ファーストタワービル7階

みずほ信託銀行 仙台支店 信託営業第二課 公益信託担当

TEL 022-225-7692